

# 平成21年4月から、BCG予防接種の受け方が変わります！

日野町では、結核予防を目的に乳児のBCG予防接種を実施していますが、平成21年4月から医療機関での個別接種となり、お子さんの体調の良い時にかかりつけ医で随時接種できるようになります。

《平成21年3月31日まで》

保健センターでの集団接種

《平成21年4月1日から》

⇒ 医療機関での個別接種

※ BCG 予防接種の対象年齢：生後満3か月～6か月未満

※ 医療機関での予防接種に持参するもの：母子健康手帳・予診票・保険証・受診券

受診券はお子さんが満3か月になられるまでに、保健センターから個別にお届けします。



## 予防接種の受け忘れはありませんか？

次の予防接種については、平成21年3月31日を越えると対象外となり、全額自己負担（公費負担なし）となります。接種がまだの方は、今すぐ受けましょう。

予防接種	対象者	学年等
麻しん風しん混合ワクチン2期	平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方	幼稚園・保育所の年長に相当する年齢
麻しん風しん混合ワクチン3期	平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれの方	中学1年生に相当する年齢
麻しん風しん混合ワクチン4期	平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれの方	高校3年生に相当する年齢
二種混合（ジフテリア・破傷風）	平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの方	小学6年生に相当する年齢

◆問い合わせ先 日野町保健センター ☎6574 有線⑤7777

## 綿向雑感

日野町長 藤澤直広

高層ビルがそびえる東京池袋から西武鉄道自慢の特急レッドアロー1号は埼玉県の秩父をめざし走ります。住宅が並ぶ東京のベッドタウンをぬけるとやがて山間部へ、谷筋に沿って速度を落とし縫うように走る。通過駅に停車している電車は見慣れた近江鉄道の車輛とそっくり。（近江鉄道は西武系だから）首都圏から80分で山あいに広がる静かな秩父の町に到着。秩父は古くから近江日野商人が進出し、日野からもたくさんの方が働きにいらしていました。秩父の地酒といえば（株）矢尾本店の「秩父錦」、日野町中在寺出身、矢尾グループのホームページには、三方よしの近江商人の心得がしっかりと刻まれています。秩父市の隣に小鹿野町があり、第12回小さくても輝く自治体フォーラムが開催されました。このフォーラムの第1回は長野県栄村で平成15年2月に開催されました。まさに国が「平成の大合併」を強力に進め日

本中が合併一色になった時期でした。こうした流れに抗して、地方自治の本旨に立脚し小規模自治体のあり方を研究しその良さをアピールするフォーラムとして学者や自治体関係者や住民がつくりあげてきました。今年も北海道から沖縄まで500名が参加。全国町村会と関係の深い東京大学の大森教授が講演され、町村自治の大切さを強調され、合併の強制や道州制を強く批判されました。人口500人以下の村長さんからも厳しいなかでも頑張っていることが元気に報告されました。こうした中で、1月30日に開催された首相の諮問機関である第29次地方制度調査会では、国による市町村合併の推進を終了する方向が確認されました。鳩山邦夫総務大臣も「市町村合併をこれ以上やるべきではない。かえって地域の文化を損なう」と述べたと報道されています。これまで「構造改革」という掛け声によって、町村自治をはじめ郵便局そして医療や福祉が大変な状況に追い込まれてきました。そうした流れを変え、この本質を見極めしっかりと再構築しなければならないと思います。